



大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい児童生徒の育成」

文責 浅利 進

今年度が始まり、あっという間に1カ月が経とうとしています。昨年までの伝統を引き継ぎ、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が進められています。この1カ月は多くの行事があり、先生たちも大忙しでした。当然生徒の皆さんも忙しい毎日だったと思います。それでも、それぞれの学年ごとに立場や状況が変わったことで、大きく成長してもらえると嬉しいです。

さて、4月5日に122名の新入生と7名の先生方を迎え、全校392名・職員40名の体制で、令和6年度がスタートしました。新2，3年生は、これまでの若中の取組が継承されていて、昨年同様、式や集会時の入退場、話す・聴く態度、授業時の姿勢、爽やかな服装・頭髪などの身だしなみ、元気な挨拶、1年生に優しく丁寧に指導する上級生、和やかな掃除風景等、それぞれの場面に応じた学校生活が送れています。先輩としての意識の高まりを感じさせられました。

昨年度から始まった「第3の制服」は今年度の1年生も着用する生徒がいる中で、学校の中になじんできたように思います。ほかの学校からも問い合わせがあり、今後県内に広がっていくのだろうと感じました。本校の取組の一つであるSDGsの一環で、誰一人取り残さない学校を目指して、新しい時代を生き抜くためにも、今年度も生徒会本部を中心とした生徒の取組に期待をしたいと思います。

本校は、「**小中一貫校 南アルプス市立若草中学校**」です。若草地区の小学校2校と若草中学校で共通の学校教育目標『よく学び、心豊かで、たくましい児童生徒の育成』を設定し、9年間を見通した教育に取り組んでいます。「小中ギャップの軽減」「いじめや不登校の解消」、そして「学力の向上」等の教育課題に対して、**3校が同じ方向を向いて若草の子どもたちを育てられる**ことで、子どもたちが大きく成長することを期待しています。義務教育の最後の3年間、これまで培ってきた力を更に大きく伸ばしていきましょう。

4月は大忙し！ここからスタート！！

毎年のこととはいえ、4月は始まった途端に、多くの行事が行われました。新任式、始業式から始まって、入学式、新入生歓迎会、家庭訪問、修学旅行、委員会・・・1年生は歓迎(?)テスト、3年生は全国学力・学習状況調査もありました。ぎゅうぎゅう詰めであっという間の1か月でしたね。お疲れ様でした。



今年の入学式は、ちょっと狭かったですが、在校生も参加し、先輩たちが見守る中で行われました。新入生の緊張した初々しい姿は印象に残っていますが、2，3年生の歓迎の歌声は体育館に響き渡り、新入生にも感動を与えたと感じまし

【生徒配付用】 カラー版は若中HPにアップしています

た。学校で行われる行事に生徒が参加するのは当たり前ですが、久しぶりに3学年がそろってスタートできたことは本当に嬉しかったです。中学生になった新入生が、今後どんな中学校生活を送るのか楽しみです。

3年生が一番楽しみにしていた修学旅行が2泊3日で実施され、私も一緒に京都や奈良に行かせてもらいました。新学



清水の舞台にて

級になって2週間ほどで、まだクラス内の人間関係もうまく作り切れないなかでの修学旅行だったので、かなりハードな準備日程だったと思います。その分昨年度までにきちんと計画を立てていたため混乱もなくスムーズに実施できました。初めての新幹線や、歴史ある建築物の見学、友達との宿泊、計画通りに行う行程など、修学旅行で経験したことは、心に残る体験であると同時に良き思い出になる、と感じました。天候も心配されましたが、3年生のこれまでの頑張りが伝わったのか、多少雨に降られたものの、見学に影響があることもなく、

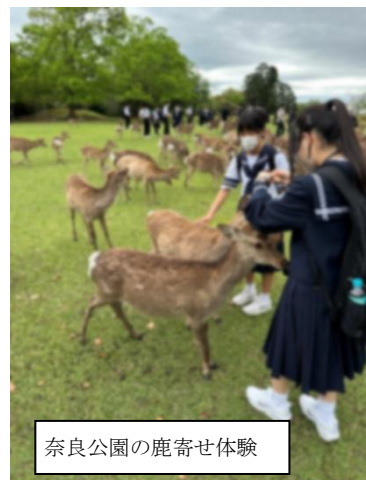
素晴らしい修学旅行になったと思います。ただ、京都も奈良も修学旅行生が多いのはもちろん、海外からの観光客が非常に多く、あちこちで道の渋滞や見学場所での混雑があり、日程を一部変更する場面もありました。インバウンドは当面続くことも予想され、修学旅行の取組を見直していく必要性を感じました。そういう意味では、京都のグループ見学はタクシーを使うことで、見学時間の確保や、見学場所を丁寧に教えてもらうことができることを含めて、生徒が満足できて良かったなあと思いました。3日間のうち最終日はやや暑いぐらいのよい天気、事故やけがもなく、クラスの仲も深まり予定通り無事修学旅行を終えることができました。3年生の皆さんお疲れさまでした。

自分とは違うもの。

私自身、これまで教員として頑張ってきたつもりですが、年齢を重ねるにつれ、学ぶことが増えたように思います。生徒をよりよく成長させるには自分をアップデートしなければならないと感じたからです。今年の入学式では「自分の持っているものと違うものを取り入れ、常に新しい自分を創り上げてほしい」という話をしました。自分の目指しているゴールは一つかもしれませんが、ゴールに向かう道は一つではありません。取組がうまくいかなかったり、つまづいてしまったら、ほかにどんな方法があるか、自分で調べたりいろいろな人に聞いたりすることは大切だと思います。自分の考えに固執せず、様々なやり方を探してください。そのなかで、今の自分にピッタリな方法を見つけていきましょう。そして、同じ悩みを持つ友達にも教えてあげてください。一人一人は違って、みんなで共有すれば、みんなが幸せになれると思います。「自分とは違うもの」を探してみましょう。



迫力ある3年生の歌声



奈良公園の鹿寄せ体験